

## 2019 Kunori Global Camp 九里地球塾

開催日時：令和元年 7 月 13～14 日(1泊2日)

場所：ホテル樹林 (山形県山形市蔵王温泉)

参加者：九里学園生徒 18名 新庄東高校生徒 9名 山形西高校生徒 1名  
山形大学留学生 9名 (中国・フィリピン・マレーシア・ボリビア・フィジー)  
九里学園教員 7名 新庄東高校教員 2名  
合計：生徒 28名 留学生 9名 教員 9名

### [活動目的]

山形大学に在籍している多様な国からの留学生との協働体験プログラムを通して、グローバル人材としての素養を育むことを目的とする1泊2日の宿泊合宿。

以下の3つの素養を育むためのプログラムが実施される。

1. 多様性の受容と尊重  
多様な国の文化・習慣・価値観などに触れ、それらを理解し、尊重する国際感覚を養う。
2. 想像力・表現力・思考力  
留学生との様々なグループワークやディスカッションを通して、想像力・表現力・思考力といった能力を育む。
3. チームワーク  
共同生活の中で、仲間意識を持ち、共に目的を達成する喜びや、相互協力の大切さを体感する。

### [活動内容]

1. **Ice Breaking**  
初対面の参加者同士でも打ち解けられるよう、ゲームを通して楽しくコミュニケーションを取る。
2. **Workshop 1: Learn New Languages**  
現代は、多言語化、多宗教化、多文化化が進んでいる。そこで、多くの言語に触れ、その良さや多言語を学ぶ楽しさを知る事ことは、現代に生きる私たちにとって大切なことである。当然今回の協力者の出身国の言葉はそれぞれ違う。公用語は英語やスペイン語でも、ローカルな言語を使用している場合もある。そこで、自分の好きな言語を選んで、その国の言葉で自己紹介などができるよう学ぶアクティビティ。  
留学生と共に生徒は屋外に出て、蔵王の大自然の下でのびのびと活動した。留学生の使用言語ごとにグループを作り、生徒が学びたい言語のグループに加わり簡単な会話のレッスンを受けた。留学生の出身国と使用言語は、ボリビアのスペイン語、中国の中国語(マンダリン)、マレーシアのマレー語、フィジーのフィジー語、フィリピンのタガログ語

の5言語。

### 3. Workshop 2: Problems, the Worst Issue

世界が抱える問題の中で、最も深刻で大きな問題とは何か考えるワークショップ。人・国・文化が違えば、問題の捉え方も異なるため、自分とは異なる問題への認識を学ぶことで、多様な支援から世界の抱える問題を捉えていくためのワークショップ。それぞれの立ち位置からなぜその問題が最も深刻で大きな問題としてとらえたのか発表した。

### 4. Workshop 3: My Education

SDGs 4 「質の高い教育をみんなに」について考える。世界では、教育を受けられない子ども達がたくさん存在し、その理由も様々ある。そんな子供たちの現状を理解し、また教育をめぐる環境について考え、どうして教育が必要なのか議論する。そのことを通して教育格差や教育の大切さ、世界の不平等について考察を深めた。

### 5. Workshop 4: My Story

留学生の協力者から、「My Story」というテーマで自分の国の紹介、なぜ日本へ来たのかを1カ国につき15分程度でプレゼンをしてもらい、各国の文化や日本へ来た目的について学ぶ。もちろん知らない文化について知る楽しさはあったが、中国の中の多様性も知ることができ、有意義であった。また、学びの目的意識や越境体験のすばらしさなどが留学生から語られることで、生徒たちの留学等への関心も高まった。

### 6. Workshop 5: Waste Problem

世界で直面しているプラスチックゴミ問題とリサイクルの問題について考えるワークショップ。クイズ形式でプラスチックゴミの状況やリサイクルの現状などについて理解を深め、私たちがシングルユースのプラスチック製品を一日のうちにどのくらい使うか可視化した。その上で、この問題の解決策を考えて、自分たちの解決策を発信するロゴをグループごとに考え、作成した。誰にでも分かりやすく、伝わりやすいユニバーサルなデザインはどのようなものか考えながら多くのアイデアが出され、ユニークなロゴが集まった。

### 7. Workshop 6: Cup Stacking

最後に、参加者全員で一つのものを作り上げるアクティビティ。カップスタッキングは、チームビルディングに有効なアクティビティ。アクティビティの最後に心をつなげて作り上げることで、参加者同士の絆を一層深めた。そこには言語や文化、国の違いを乗り越えて、ただ仲間、そして地球市民として存在する彼らの姿があった。